

# ふるさとあしたへ

厚生労働省の統計によると、奈良県内で2014年度に行われた改葬は702件。04年度は239件で、少子高齢化を背景に増加傾向にある。

新しいニーズに応じた動きも広がっている。郡山藩主・本多政勝の菩提所とし

@奈良

て、約400年前に創建された大和郡山市南郡山町の連成寺(松本源成住職)は、14年末の伽藍の建て替えをきっかけに、境内を改装し、樹木葬を始めた。桜、カエデ、松を植えた庭園や、水代供養納骨堂、合葬墓、墓標が高さ約30センチのクリス

読売新聞大阪本社が昨年、地方創生のヒントを四国から探った連載「ふるさとあしたへ」の記事をベースにした

連載 単行本に



## 樹木葬などニーズに対応

## 「守り人」つえ欠かせず 郷里遠く

### 現代の墓事情

子孫が守り継いできた墓のありようが曲がり角に差し掛かっている。承継者の多くが古里を離れて暮らし、少子高齢化も進む。先祖代々の墓を自宅近くなどに引越す「改葬」の件数は全国で年間約8万件に及ぶ。時代に見合った形のかたちを模索されている。

「肩の荷が下りました」。

喜寿を超えた女性は8月、古里・福井県永平寺町の菩提寺で、改葬のための法要を終え、晴れ晴れとした表情でそう話した。

5人きょうだいの末っ子。家を継ぐことは考えたこともなかった。1948年の福井地震で、兄と姉2人が亡くなった。末娘が一番長く墓を守れると、女性に白羽の矢が立ち、京都・西陣の職人だった同郷の男性を婿養子に迎え、家を継いだ。

それから半世紀以上、両親とときようだが眠る墓を守ってきた。家族で暮らす京都から電車で約2時間。帰省ラッシュと重なるお盆には、道路に新聞紙を敷いて座った。夫が自宅で介護を受けるようになってからは、離れて暮らす3人の息子が交代で付き添ってくれた。

1度の墓参りでかかる費用は、お布施や交通費で約10万円。急傾斜の崖を切り開いた墓地は草が生い茂り、1時間以上かけて墓掃除をする。数年前に体調を崩した。日常生活でつえが欠かせなくなり、改葬を決めた。

「もう福井に帰ることもないでしょう」。郷里とのつながりが途切れたことに一抹のさみしさをにじませながら、「両親やきょうだいが、そばにいたいことが何よりうれし

墓の引っ越しをするための法要に臨む女性(左)と住職(福井県永平寺町で)



# 「維持限界」進む改葬

人口減少や少子高齢化を背景に改葬が増加する。統計を取り始めた1997年度以降、全国で約128万件。福井県内でも2000件を超え、ここ数年増えている

という。法令で規定された改葬の手続きは煩雑で、墓の撤去や納骨に新しい墓石代も含めると平均300万円前後の費用もかかる。少子化で後継ぎのいない人も多く、古里の墓が無縁化するケースも増えている。

高松市は2008年、約3万8000基が立つ市営墓地を調査し、約6600基を無縁墓と認定した。熊本県人吉市の13年の調査では、民営墓地を含めた市内の約1万5000基のうち、約4割の約6500基が無縁墓だった。

谷間さんは「地方では、都市部への人口流出などで墓を守る人がいなくなり、無縁墓

い」と話した。

人口減少や少子高齢化を背景に改葬が増加する。統計を取り始めた1997年度以降、全国で約128万件。福井県内でも2000件を超え、ここ数年増えている

という。法令で規定された改葬の手続きは煩雑で、墓の撤去や納骨に新しい墓石代も含めると平均300万円前後の費用もかかる。少子化で後継ぎのいない人も多く、古里の墓が無縁化するケースも増えている。

高松市は2008年、約3万8000基が立つ市営墓地を調査し、約6600基を無縁墓と認定した。熊本県人吉市の13年の調査では、民営墓地を含めた市内の約1万5000基のうち、約4割の約6500基が無縁墓だった。

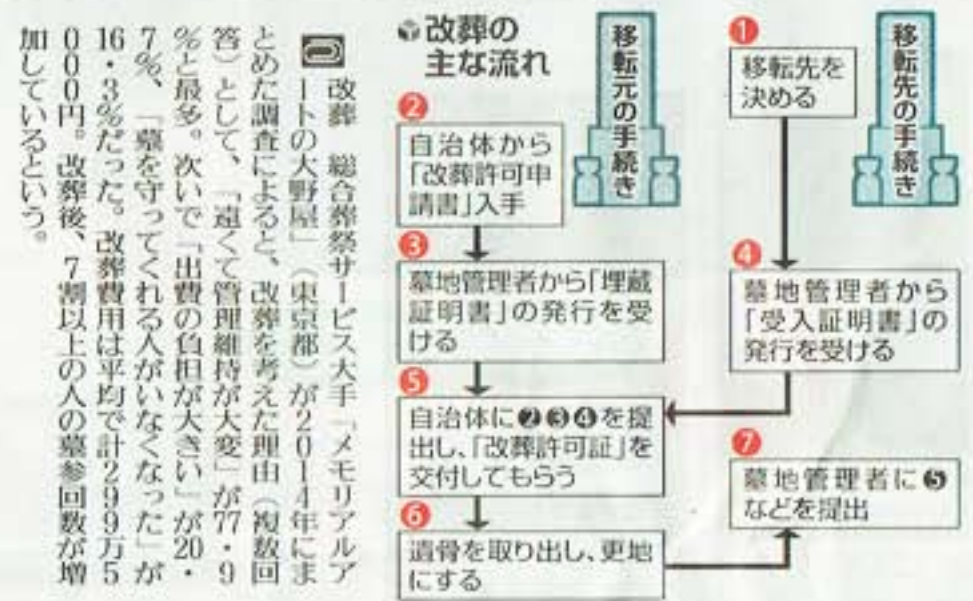
谷間さんは「地方では、都市部への人口流出などで墓を守る人がいなくなり、無縁墓

は今後確実に増えるが、容易に食い止める手だてはない」と指摘する。

墓にこだわらない葬送形態が広がる。水代供養の合葬墓や樹木の下に遺骨を埋める樹木葬、遺骨を細かく砕いて洋

高松市でも昨年からは、市シルバー人材センターが年一回、清掃や供花を行い、清掃前後の写真も提供する。これまでに14件の利用があり、担当者は「今後さらに利用が広がるのでは」と見込む。

全日本墓園協会の横田隆主任研究員は「今後、合葬墓や樹木葬は確実に増加していく。ただ、墓は先祖から連綿と続く歴史を伝える道しるべの役割もある。長期的視点に立ち、社会全体で墓のあり方を模索する必要がある」と話



改葬 総合葬祭サービス大手「メモリアルファースト」の調査によると、改葬を考えた理由(複数回答)として、「遠くで管理維持が大変」が77.9%と最多。次いで「出費の負担が大きい」が20.7%、「墓を守ってくれる人がいなくなった」が16.3%だった。改葬費用は平均で計29万9500円。改葬後、7割以上の人の墓参回数が増加しているという。

タルガラス製の「クリスタル墓」も設けた。

次期住職の松本匡司さん(39)は「家族制度が崩れ、核家族化が進み、墓への悩みを抱える人たちが増えている。未水く供養してもらえないという安心感が好評だ」と話す。

奈良市には、墓石を清掃するなど墓参りを代行する業者がある。(奈良支局・尾崎晃之)